

けやきゼミナール teacher's 版 No.17



○「個別最適な学び」って？

コロナ禍の中で、ICT化が進み、親睦会のお弁当もパソコンから注文できるようになりました。お弁当も写真入りで、お弁当のイメージも理解することができ「4日目のお弁当は根室しよう！（笑）」とすぐに決めることができました。雨宮先生、本当にありがとうございました。素敵なお弁当の注文票でした。

さて、前回のキーワードシリーズの続きです。数年前まで「アクティブラーニング」という用語は共通言語ではなかったような気がします。でも今は・・・。

中央教育審議会は、1月26日（火）に「令和の日本型学校教育を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びの実現～」を答申として発表しました。

答申内容を簡単にふれてみます。

「個別最適な学び」とは、指導の個別化と学習の個性化を学習者の視点から整理した概念だそうです。

「個別最適な学び」＝「指導の個別化」＋「学習の個性化」

では、「指導の個別化」とは、支援が必要な生徒により重点的な指導を行うなど効果的な指導を実現すること、特性や学習進度等に応じ、指導方法や教材等の柔軟な提供と設定を行うことだそうです。

「学習の個性化」とは、生徒の興味関心等に応じ、一人ひとりに応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、生徒自身が学習が最適となるように調整することだそうです。

そして、この答申では「個別最適な学び」が進められるよう、

「これまで以上に生徒の成長やつまずき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえてきめ細かく指導・支援することや、生徒が自らの学習の状況を把握し、主体的に学習を調整することができるように促していくことが求められる。その際、ICTの活用により、学習履歴（スタディ・ログ）や生徒指導所のデータや健康診断情報等を活用することや教員の負担を軽減することが必要である」としています。

新学習指導要領では「個に応じた指導」を一層重視しているので、今後の授業の指導形態については、ICT化がますます進みそうです。

令和2年度キーワード…「組織化」「共有・協働」「探究」「ユニバーサルデザイン」「チャレンジ」

CHALLENGE…各自の目標を見つけ、それに向かって自らの能力や適性を伸ばし、挑戦し続ける

INDEPENDENCE…民主社会の担い手として、優れた判断力と強い責任感を備えた人物を育てる

GLOBAL…国際社会の一員としての自覚を持ち、自国の文化や習慣を大切にすると同時に、他国の文化や習慣を理解できる人間に育てる